

会議録

会議名 (審議会等名)		第8期第6回相模原市中央区区民会議（グループB）		
事務局 (担当課)		中央区役所区政策課 電話042-769-9802（直通）		
開催日時		令和7年12月23日（火）10時00分～11時40分		
開催場所		相模原市民会館 3階 第1大会議室		
出席者	委員	8人（別紙のとおり）		
	その他	0人		
	事務局	2人（区政策課職員）		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		<p style="text-align: center;">開 会</p> <p>1 議題 中央区基本計画の取組状況の検証について <input type="radio"/>グループB ・取組目標Ⅲ：安全・安心をみんなで創っている ⇒【防災】【交通安全、防犯、空き家】 ・取組目標Ⅳ：魅力と活力にあふれ、にぎわっている ⇒【商業、観光、農業】、【基地返還、拠点形成、道路、交通】、 【文化、スポーツ、国際化】</p>		
		<p style="text-align: center;">閉 会</p>		

主な内容は次のとおり。

■取組の方向III－2 ①「交通事故防止対策の推進」

(小林委員)

シェアサイクルのスポットを最近よく見かけることが多い。利用者も多いようだが、スポットに自転車用ヘルメットを置いていないので、セットで配置する必要がある。

(入谷委員)

自転車に乗っている親子連れを見ると、子供にはヘルメットを付けているが親自身が付けていないという状況が散見されるため、意識を向上させる必要がある。

以前、市で自転車用ヘルメットの補助を行っていたが、効果的な事業であったと思う。今後も継続的に実施すべきだと考える。

(星委員)

ヘルメットを被らないと違反の点数を切るぐらいの取り締まりを行わないと、着用率も伸びないのではないかと思う。

(鈴木委員)

自転車道がある道路でも、車の交通量が多いこともあり、自転車が歩道の方を走ってしまう例もよく見る。

(小林委員)

上溝地区では地域の安全のために活動する「交通少年団」を立ち上げるための取組が行われている。まだ団体の会員数が少なく活動費用を捻出するのも難しい状況であるが、全国的にも珍しい取組であり、地域や交通安全協会など様々な手によって活動をサポートする必要がある。

(田加井委員)

市内には6メートルの住宅道路が非常に多い。道路に路側帯を引いても電柱を避けるために、中央寄りに自転車が飛び出していくことがあり、トラブルも多い。

交通事故の件数は減少している一方で、自転車事故の割合は年々増えている現状にあり、どのように対策していくかが課題である。

(星委員)

事故率だけではなく、結果としてヘルメットを着用していなかったからこういう怪我につながったなどの詳細なデータがあれば、利用者が事故を身近に感じ、効果的な啓発につながるのではないかと思う。

(藤澤委員) ※会議後に意見追加

市でヘルメットを貸出するのも効果的ではないか。最近は物価が高騰しており、購入するにはハードルが高い家庭もある。例えば、月に100円程度でヘルメットを借りることができれば、ヘルメット着用の敷居が下がるのではないかと思う。

■取組の方向III－2 ②「犯罪の未然防止」

(小林委員)

防犯カメラは簡易的なものであれば比較的安価で購入できるものもあり、設置方法なども含め市から地域に情報提供し、各地区で導入する機会を作るよう周知してほしい。

■取組の方向IV－2 ③「道路環境の向上」

(藤澤委員)

国道16号の矢部駅入口交差点に自転車通行帯が設置された際に、夏場の日差し対策として、地域からけやきの木を残してほしいと要望をしたが、現在は伐採されてしまっている。また、路

側帯周囲には雑草が生えてしまっており、定期的に手入れをして欲しいと思う。

一方で、相模原警察署周辺の路側帯では、花壇が設置されており、ボランティア団体の方々が熱心に花の手入れをしている姿を見る。

■取組の方向IV－2 ④「地域公共交通網の構築」

(小林委員)

今後のまちづくりを考えるにあたっては、小田急多摩線延伸の状況が進展しないこともあり、Zipparなど新しい交通手段の検討も必要である。

(入谷委員)

相模原駅北口エリアで自動運転バスの実証運行を実施予定と聞くが、実証運行が進展すれば、今般の公共交通における運転士不足の解消や事故の低減にもつながると思う。こうした動きが今後どのようなスピード感で進むかによって、今後の公共交通の展望もずいぶん変わってくる。

また、小山地区では高齢者の移動支援の実証実験を11月28日、12月12日の2回実施しており、その実証結果が1月に出る予定である。

■取組の方向IV－3 ①「文化が薫り、誇りを持てるまちづくり」

(小林会長)

身近なところでは、上溝地区にある高齢者施設では似顔絵や写真などが飾られており、どれも素晴らしい作品である。表には情報として出てこないが、こうした素晴らしいものが地域には沢山ある。

(鈴木委員)

中央地区では年に1度、小学校から高校生まで様々な世代の団体が発表する音楽交流会である「もみの木コンサート」が実施されており、盛り上がりをみせている。

(星委員)

県立相模原高校のマンドリン部は全国的にみても高いレベルであると聞く。各地区において、ぜひマンドリンの演奏の機会をいただきたい。

■取組の方向IV－3 ②「スポーツを楽しめる環境づくり」

(入谷委員)

相模原ではスタジアム問題があるが、長崎にあるスタジアムでは、ジャパネットの高田明氏がプロジェクトに携わり、スタジアムだけではなく大きな複合施設を作るなどサッカーを通じて地域を盛り上げようと取り組んでいた。こうしたように、地域全体の発展のために頑張ってくれる人や企業などがスポンサーになってくれれば、上手く進展するのではないかと思う。

(小林委員)

上溝小学校ではS C相模原の選手が出前授業をしていた。

(星委員)

新しいスポーツとして、ピックルボールという競技がある。市でも推奨している競技と聞いており、今後の広がりを興味深くみている。

閉 会

以 上

第8期第6回相模原市中央区区民会議（グループB） 委員出欠席名簿

No.	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	入 谷 利 郎	小山地区まちづくり会議		出席
2	桑水 流良光	相模原市民生委員児童委員協議会		出席
3	小 林 充 明	上溝地区まちづくり会議		出席
4	鈴 木 泰 信	中央地区まちづくり会議		出席
5	田 加 井 政 勇	相模原交通安全協会		出席
6	中 村 太 郎	相模原商工会議所		出席
7	水 谷 好 男	公益社団法人相模原市観光協会		欠席
8	星 清 次	相模原市公民館連絡協議会		出席
9	藤 澤 佳 代	公募委員		出席